

組合掲示板

2面

メジャーリーグは西海岸でイチロー、東の松井（ゴジラ）はじめ日本人選手の活躍で興奮させられました。日本のプロ野球界も大改革が必要な時代になりました。選手会のがんばりに比較し、経営者側は大分意識がずれているのでは。しばらく日米の野球界から目が離せません。ファンを興奮させる野球を見せてほしい。
下の写真は<http://sportsnavi.yahoo.co.jp/baseball> 2004/09/30 から引用しました。

イチローもメジャーで頑張ってます！！

エコリニューアルも変化に対応し、チームワークで目標達成を目指そう！！

【国内初の異業種集団がお客様を満足させます】



異業種が力を合わせて市場開拓

組合員紹介コーナー

プロの経験と知恵が仕事に生きる



社長就任から9年、考えていたテーマはほぼ具体化できた、これからは成果が楽しみ。エコ組合の設立当初から精力的に尽力されてきた。社業同様組合発展に真剣に思索をめぐらされている。

秋山 社長



社長の右腕として信頼厚い
小林常務



東方工業株式会社

本社：東京都千代田区鍛冶町1丁目8番3号
TEL 03-3255-1876 FAX 03-3257-9190
<http://toho-kogyo.co.jp>

設立：昭和22年8月6日
代表者：代表取締役社長 秋山 隆司
建設業許可

建設業の許可：国土交通大臣
許可（特定）第585号
建築、大工、屋根、タイル・レンガ・ブロック工事業、
鋼構造物、塗装、内装仕上、防水、管、とび・土工

登録 東京都知事登録 第41442号
東方工業株式会社一級建築士事務所

支店：東京、札幌、仙台、名古屋、大阪
営業所：長野、秋田、横浜、埼玉、鹿島、出張所：6ヶ所

沿革 1907年（明治40年）金沢市に佐藤塗装店が創業、28年東京に移転、49年佐藤工業（株）に改称、56年（昭和31年）飯泉甚兵衛を社長に迎え東方工業株式会社と改称する。飯泉氏は電力9社再編の中心人物【電力の鬼】と称された松永安左衛門（東邦電力社長）の秘書役として長年身近に接していた人です。電力業界は日本経済復興の牽引役として水力・火力・原子力・石炭火力そしてLNGガス発電と電力需要の増加に併せ、発電所を日本各地に建設してきた。東方工業はこの電力業界発展と共に各発電所に適した、塗装技術とメンテナンスのノウハウを確立し、技術力を背景に発電所からプラント、橋梁へと業容拡大を図ってきた。バブル崩壊デフレスパイラルと経営環境が激変する'96年秋山隆司氏が社長に就任した。

特徴 営業面では先輩達が築きあげた、電力業界を中心とする重工業部門が安定経営の根幹であるが、'98年からマンション・ビルの改修工事部門を新設、順調に業績を伸ばしている。数年前からコンバージョン建築が新しい建築手法として定着するであろう事を予想し、この分野への展開を視野に、人材の確保、ISO認証取得を手始めに年俸制度の導入等社内体制の見直しを精力的に行い、塗装工事業から総合建設業への変革を図っている。また、オーナー会社と異なり蓄積された資産が不十分なので、財務体質強化のため、99年から私募債発行、転換社債発行を行い、近々ジャスダック公開を目標に経営に力を注いでいる。主要株主が投資育成会社と役員・社員持株会なので、経営はガラス張りで行われており、株式上場で株主・社員へ最高の貢献ができるのは間違いのないでしょう。

さまざまなステージで、リニューアルを支えている

建築 建築物の高層化、建築技術・工法の多様化に伴い、ユニークで斬新なインテリジェントビルの開発が進められており、機能面では、メンテナンスフリーや長期防食が要求されております。それらの要求に応えるべく最新の技術で各種ニーズに応えている。

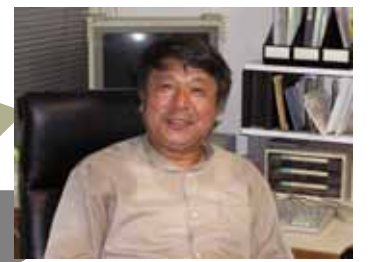
プラント・橋梁 施設やタンクの腐食・塩害に苦慮する中、環境保全・公害防止への配慮も不可欠になっており、且つデザインや色彩も重視されるようになりました。長期耐久性の向上とメンテナンス施工に技術を注ぎ、ユーザーの要望に応えている。

電力 「安全第一」を念頭に掲げ、塗料飛散対策や設備災害の防止対策を考慮し、安全性と品質管理の両面から適切な施工方法を考慮しており、また、今までに培った技術に満足することなく常に将来を見据え、それに対応すべくロボット開発の研究をしている。

リニューアル・コンバージョン 大規模建物改修・再生事業分野を拡大するため、一級建築士事務所を併設し、ユーザーの要望を的確に把握し図面化、見積、工期など全ての面で迅速に対応できるよう人材を確保し体制が整っている。

一級建築設計事務所

設計・施工監理・調査・診断
株式会社 竹内計画設計



八王子に事務所を構えて20年、これからは新築だけでなく三多摩地区のマンション改修工事の診断・設計・施工監理の分野へも積極的に取り組みたい。
快活に話される。竹内社長

本社：東京都八王子市東町1-10
グランハイツ八王子406号
TEL 0426-44-4602 FAX 0426-44-4614

設立：昭和46年2月

代表者：代表取締役 竹内 昌嗣

一級建築士登録（大臣）第98519号

資格登録

一級建築士事務所登録（東京都）第44404号
建築設備定期検査資格者 認定番号 第02501号
特殊建築物調査資格者
東京都応急危険度判定士

営業内容

建物全般における基本設計、実施設計及び監理業務
大規模修繕に関わる調査、診断、設計、監理業務
特殊建築物調査報告及び建築設備定期検査報告業務
その他上記業務における関連業務全般）

沿革 美大建築科を卒業後10年間は渋谷の設計事務所にて修行を積み、住宅、マンション、工場、ビルなど主に新築物件の設計・積算・施工監理を経験してきた。

昭和52年32歳で八王子の現在地に事務所を構え一級建築士事務所として独立。当時の八王子周辺は多摩ニュータウンの開発に活況を呈し、大学の誘致移転工事が着手された時期でしたが、周辺は未だに雑木林の丘陵地帯が沢山残っていた。事務所開設から仕事の引合は順調に増え、戸建て住宅から、工場、ビルの設計・施工監理の仕事に忙殺された。丘陵地帯も順次宅地開発が進み、三多摩・八王子周辺はほとんど開発し尽くされ、最近是小仏トンネルを抜けて、相模湖から山梨県まで広がっている。

竹内社長は設立当初から民間の設計監理の仕事と平行して、官公庁の工事にも関心を持ち、東京都・八王子市の設計監理業者として、入札参加資格を取得し年間数件の監理物件を手掛けてきた。これは民間の建築と設計コンセプトの違う官公庁の建築を監理の立場から参画することで、民間物件に参考になると言う観点からです。

特徴 平成10年からマンション大規模修繕に関し、調査診断・修繕計画提案・見積監修・施工監理の仕事東京の設計事務所と連携して手掛けている。多摩地区の設計事務所でも長期修繕計画を手掛けているところはまだ数が少ないので、この経験を基礎に地元密着の営業展開を考えている。三多摩地区のマンション群もそろそろ大規模修繕が必要な時期に入ってきたので、これからは積極的に周辺マンションへPR攻勢をかけていきたい。組合員の皆様で三多摩地区での案件があるときは是非竹内計画設計を思い出して欲しい。また、組合員の尖兵として多摩地区のマンション管理組合に対する組合営業も平行して展開することを考えている。情報交換を緊密にして、早く組合にも貢献できる仕事を実現したい。



東京都『都民の森』
この工事監理の仕事も
竹内計画設計で請けました。
(昭和63年)